

Office の更新プログラムのバージョンを以前のバージョンに戻す方法

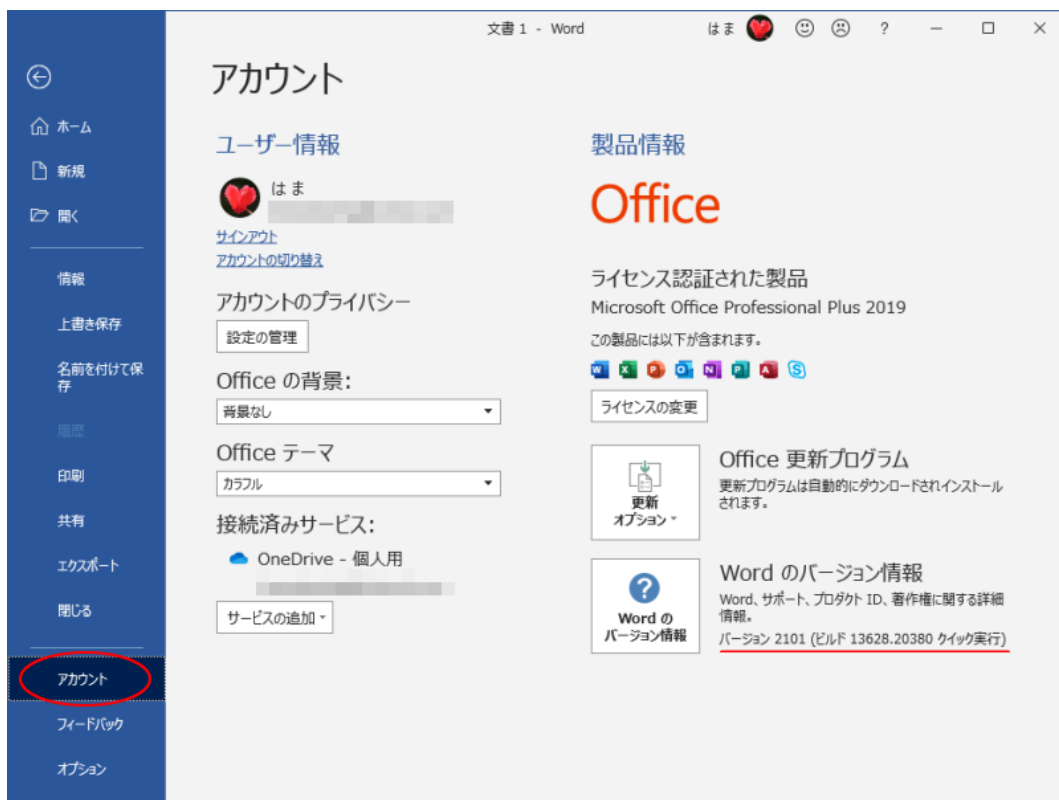
Microsoft Office の更新プログラムは、既定では自動的にダウンロードされ、インストールされるようになっています。バージョンアップにより、セキュリティが強化され、不具合も修正されます。また、新機能が使えるようになることもあります。しかし、時々、思わぬ不具合に出会うこともあります。こういう場合は、Office のバージョンを戻すことで正常になることがあります。バージョンアップによって廃止される機能もあり、どうしても使用したい機能であればバージョンを戻すことで使用できるようになります。

Office のバージョンを確認

まず、現在使用中の Office のバージョンを確認します。バージョンの確認方法は以下の記事で解説しています。

ここでは、Word2019 を起動して確認します。[ファイル] タブをクリックして [Backstage ビュー] を開き [アカウント] タブをクリックします。[

Word のバージョン情報] を見て、バージョンとビルド番号を確認します。ここでは、バージョン 2101 (ビルド 13628.20380) となっています。



戻したいバージョンのビルド番号を確認

以下の Microsoft のページで以前のバージョンのビルド番号を確認します。

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/officeupdates/update-history-microsoft365-apps-by-date>

Microsoft 365 Apps の更新履歴 (日付別の一覧) - Office release notes | Microsoft Docs (Microsoft)

ここでは、1つ前のバージョンに戻したいと思います。(トラブルがあったわけではありません。)

少し下へスクロールすると、[バージョン履歴] があります。

1つ前のバージョンは、バージョン 2101 (ビルド 13628.20274) です。ビルド番号が重要です。

戻したいバージョンのビルド番号を正確にメモします。

クリックするとリンク先でビルド番号をコピーできると思います。

参考 [バージョン履歴] の表には、[最新チャンネル]、[月次エンタープライズチャンネル]、[月次エンタープライズチャンネル (プレビュー)]、[半期エンタープライズチャンネル] があります。

Office の現在のバージョン情報に記されているビルド番号を [Ctrl] + [F] で検索してみてください。

使用中の Office は、どれに該当するかを確認できます。半期エンタープライズの場合は、バージョン情報にも [半期エンタープライズチャンネル] と表記されています。

ほとんどの場合、[最新チャンネル] と思いますが、間違えないようにしてください。

バージョン履歴

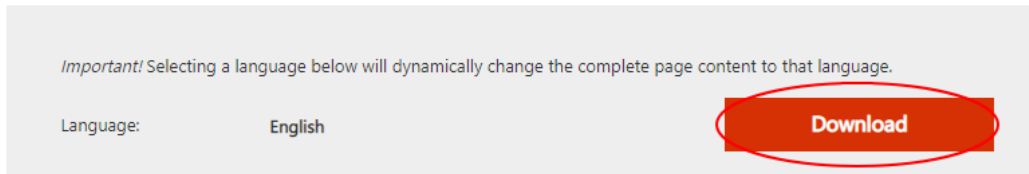
Year	リリース日	最新チャンネル	月次エンタープライズ チャンネル	半期エ:
2021	2月9日	バージョン 2101 (ビルド 13628.20380)	バージョン 2012 (ビルド 13530.20528) バージョン 2011 (ビルド 13426.20658)	バージ:
2021	1月26日	バージョン 2101 (ビルド <u>13628.20274</u>)		
2021	1月21日	バージョン 2012 (ビルド 13530.20440)		
2021	1月12日	バージョン 2012 (ビルド 13530.20376)	バージョン 2011 (ビルド 13426.20526) バージョン 2010 (ビルド 13328.20550)	バージ:

自己解凍型実行可能ファイルをダウンロードして実行

以下をクリックすると、ダウンロードセンターが表示されますので、[Download] をクリックします。Microsoft のページでは、[Office 展開ツール] と表示されているページです。

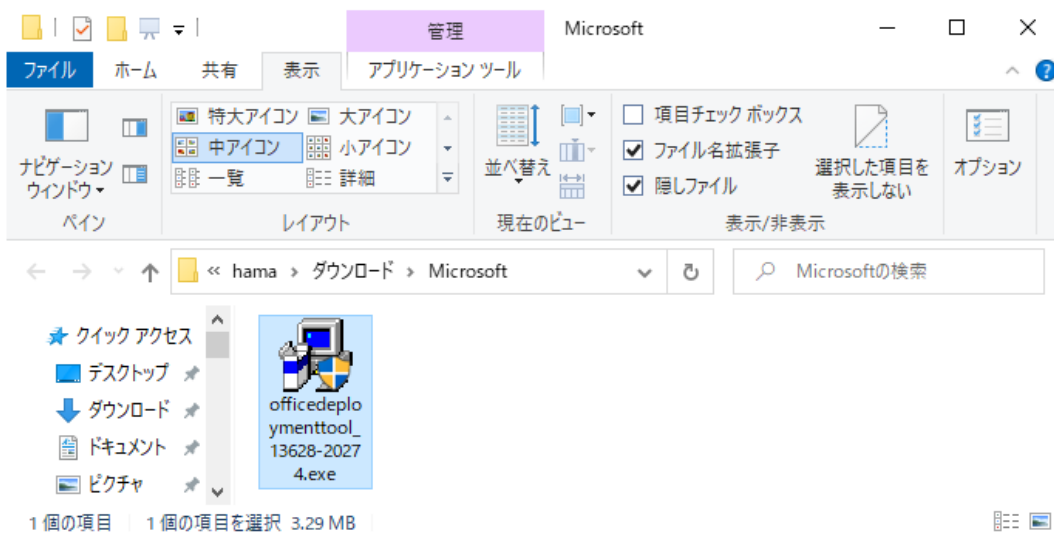
<https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=49117>

Office Deployment Tool



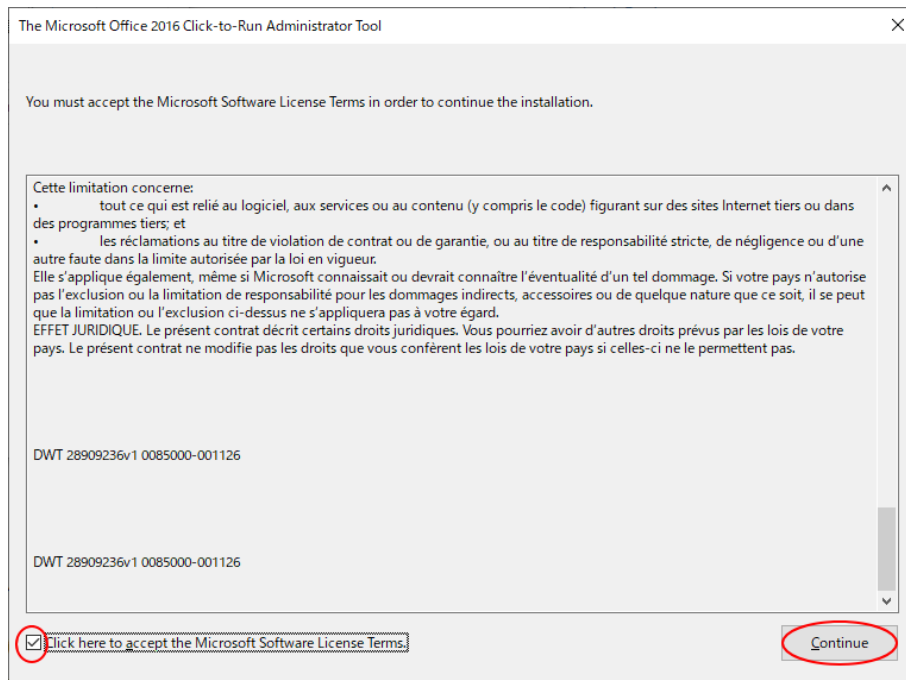
The Office Deployment Tool (ODT) is a command-line tool that you can use to download and deploy Click-to-Run versions of Office, such as Microsoft 365 Apps for enterprise, to your client computers.

ダウンロードしたファイルを任意の場所に保存します。

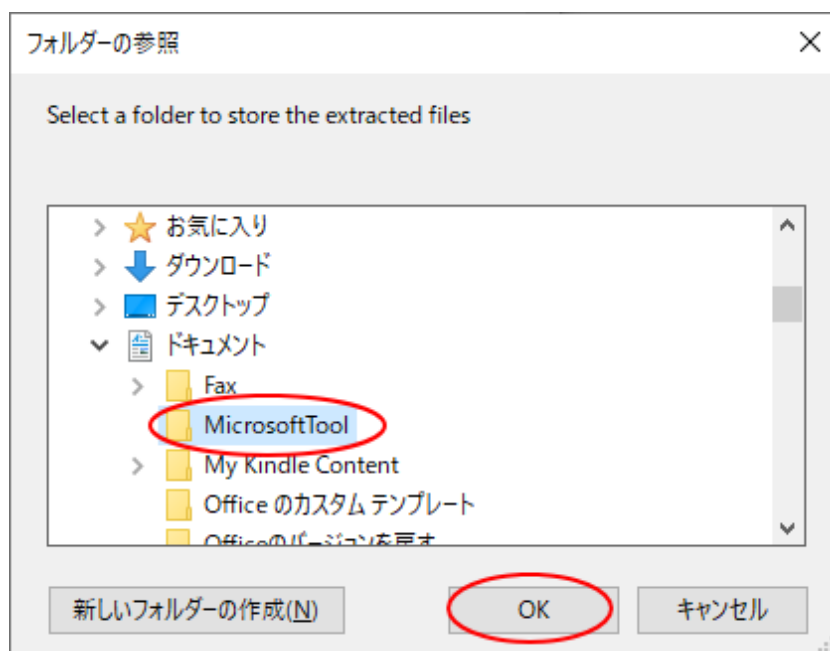


ダブルクリックする前に、[setup.exe] を保存するフォルダーを作成しておいたほうがいいと思います。ここでは、[MicrosoftTool] という名前のフォルダーを先に作成しています。

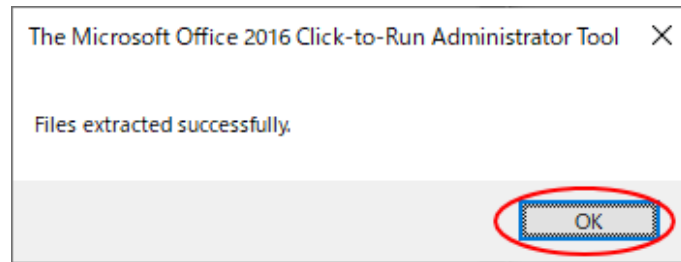
ダウンロードした [officedeploymenttool_13628-20274.exe] ダブルクリックします。
以下のウィンドウが表示されますので、[Click here to accept the Microsoft Software License Terms.] のチェックボックスをオンにして [Continue] をクリックします。



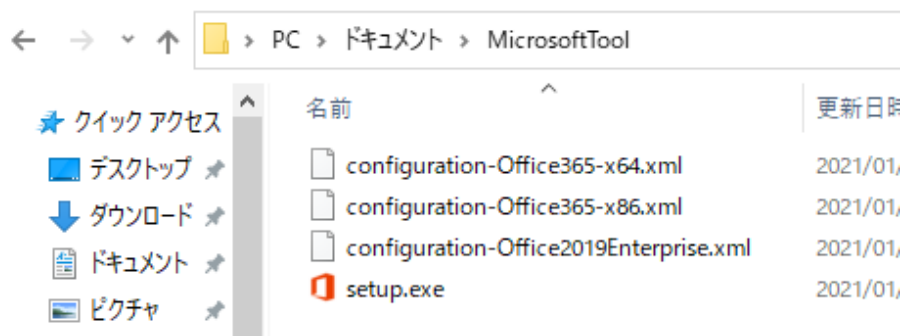
次に [フォルダーの参照] ウィンドウが表示されます。
フォルダーを指定して [OK] ボタンをクリックします。



以下の [Files extracted successfully.] メッセージウィンドウが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



[フォルダーの参照] で指定したフォルダーを開いて確認します。



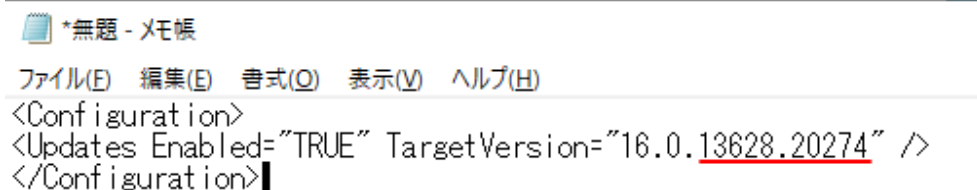
Config.xml ファイルを作成

テキストエディターを起動して、以下をコピーして貼り付けます。

[xxxxx.yyyyy] には、先にメモしておいた戻したいバージョンのビルド番号を入力します。

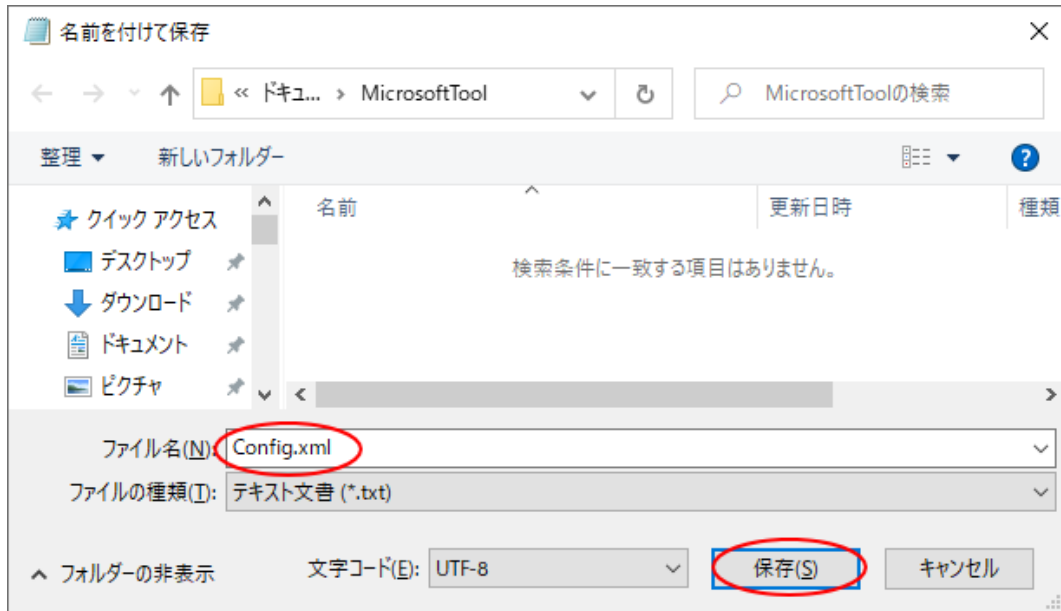
```
<Configuration>  
<Updates Enabled="TRUE" TargetVersion="16.0.xxxxx.yyyyy" />  
</Configuration>
```

ここでは、以下のように入力しています。

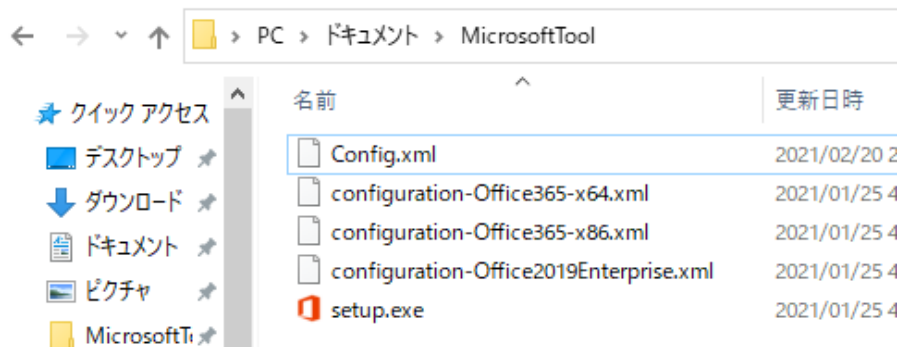


このメモ帳を [Config.xml] という名前を付けて [setup.exe] と同じフォルダーに保存します。

[ファイル] メニューから [名前を付けて保存] をクリックして、[ファイル名] に [Config.xml] と入力して [保存] ボタンをクリックします。



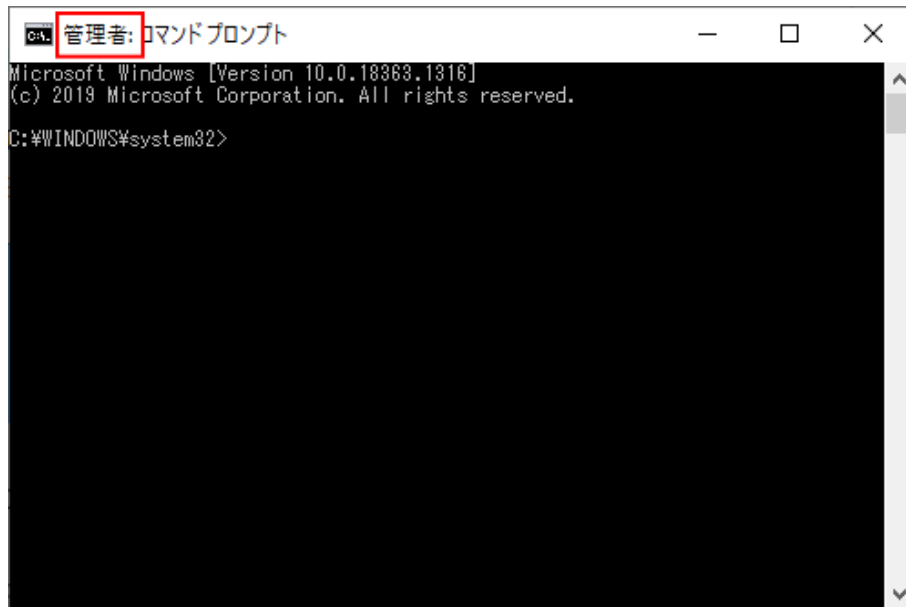
保存先のフォルダーは以下のようにになります。



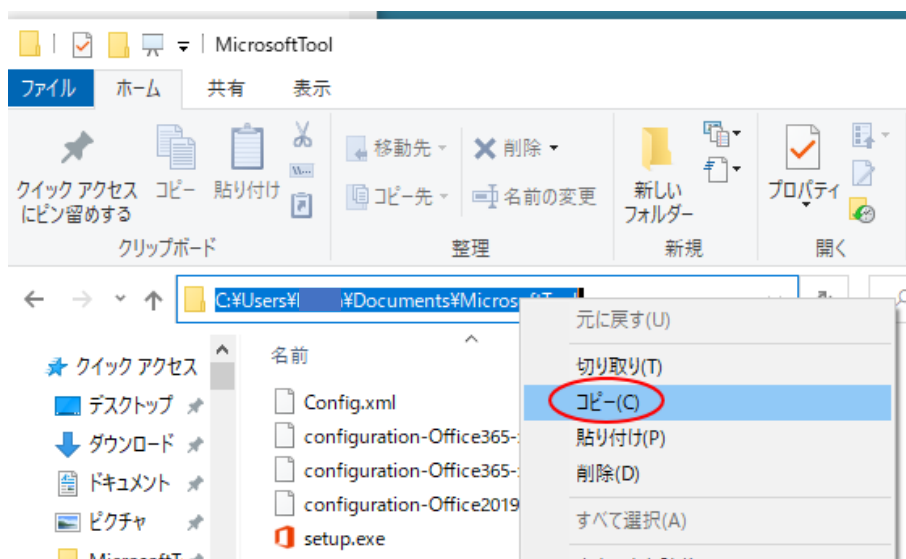
コマンドプロンプトを起動してコマンドを実行

コマンドプロンプトを管理者として開きます。

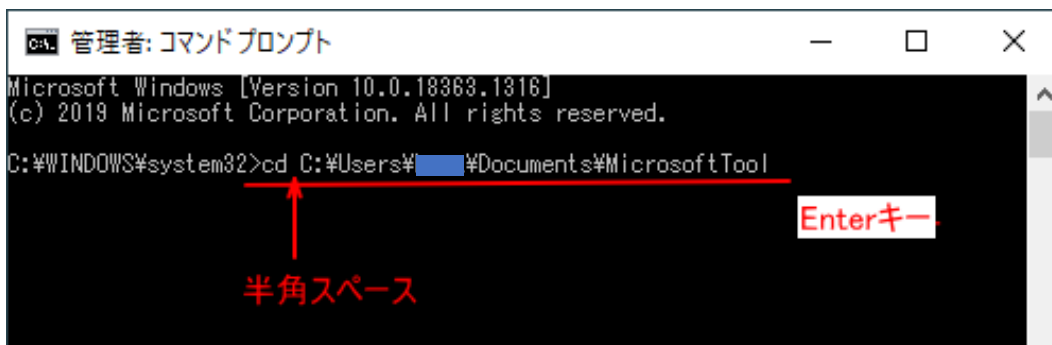
検索ボックスに [cmd] と入力すると、[コマンドプロンプト] がヒットしますので、右クリックして [管理者として実行] をクリックします。



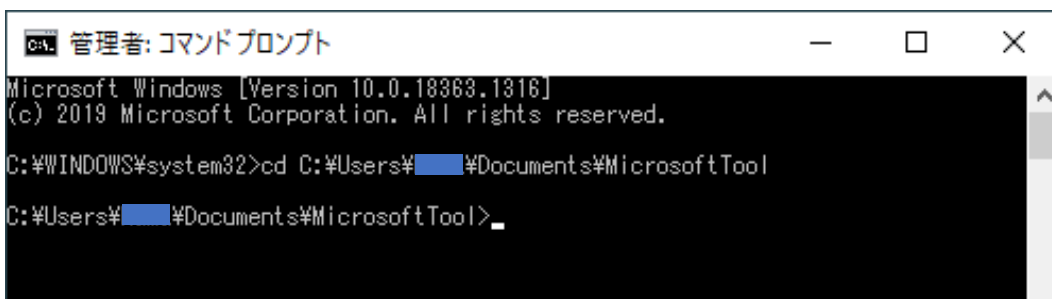
コマンドプロンプトのウィンドウが表示されます。タイトルバーに [管理者] と表示されていることを確認します。コマンドプロンプトに [cd] と入力して、半角スペースの後、[setup.exe] と [Config.xml] を保存しているフォルダーのパスを入力します。フォルダーのパスは、アドレスバーをクリックすると、表示されますので右クリックしてショートカットメニューから [コピー] をクリックします。



コマンドプロンプトは、以下のようになりますので [Enter] キーを押します。



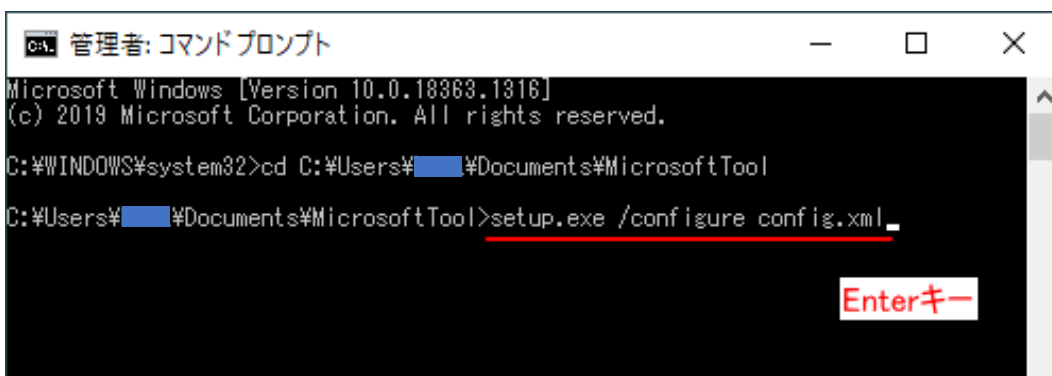
コマンドプロンプトには、保存先のパスが表示されます。



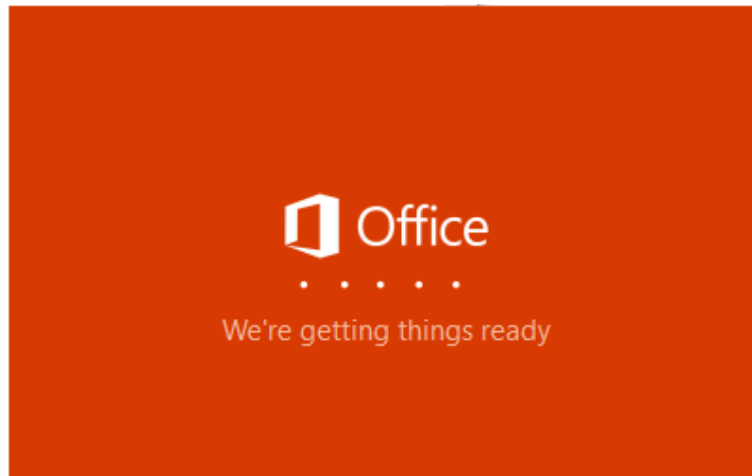
続けて、以下をコピーして貼り付けます。

```
setup.exe /configure config.xml
```

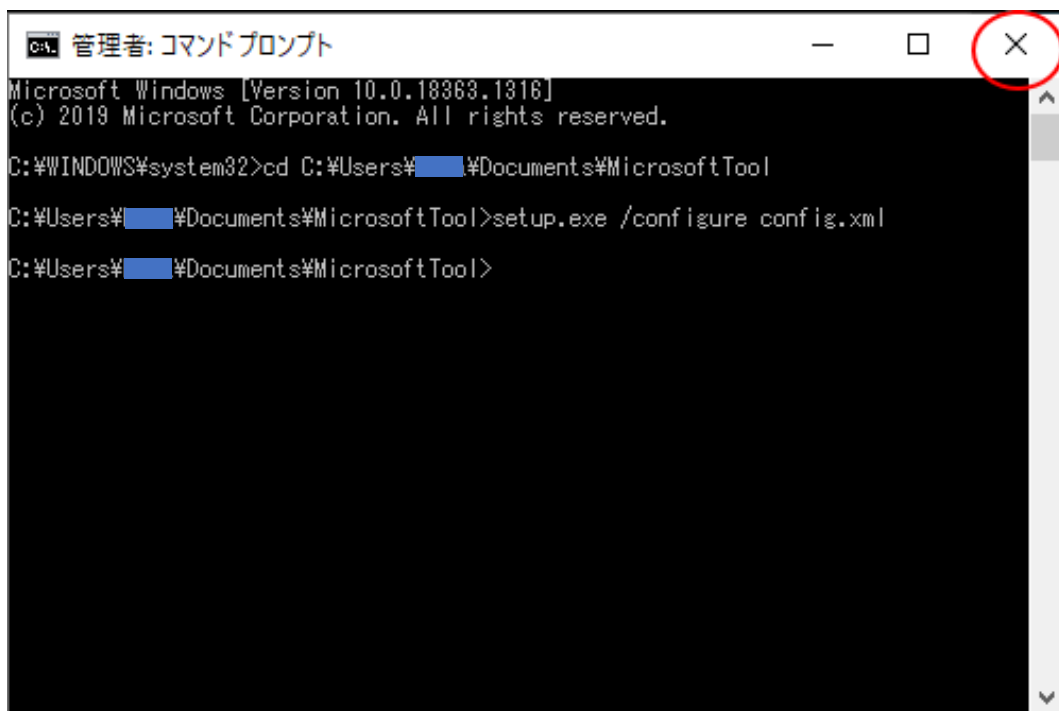
[Enter] キーを押して実行します。



以下のような画面が表示されます。しばらくすると消えます。



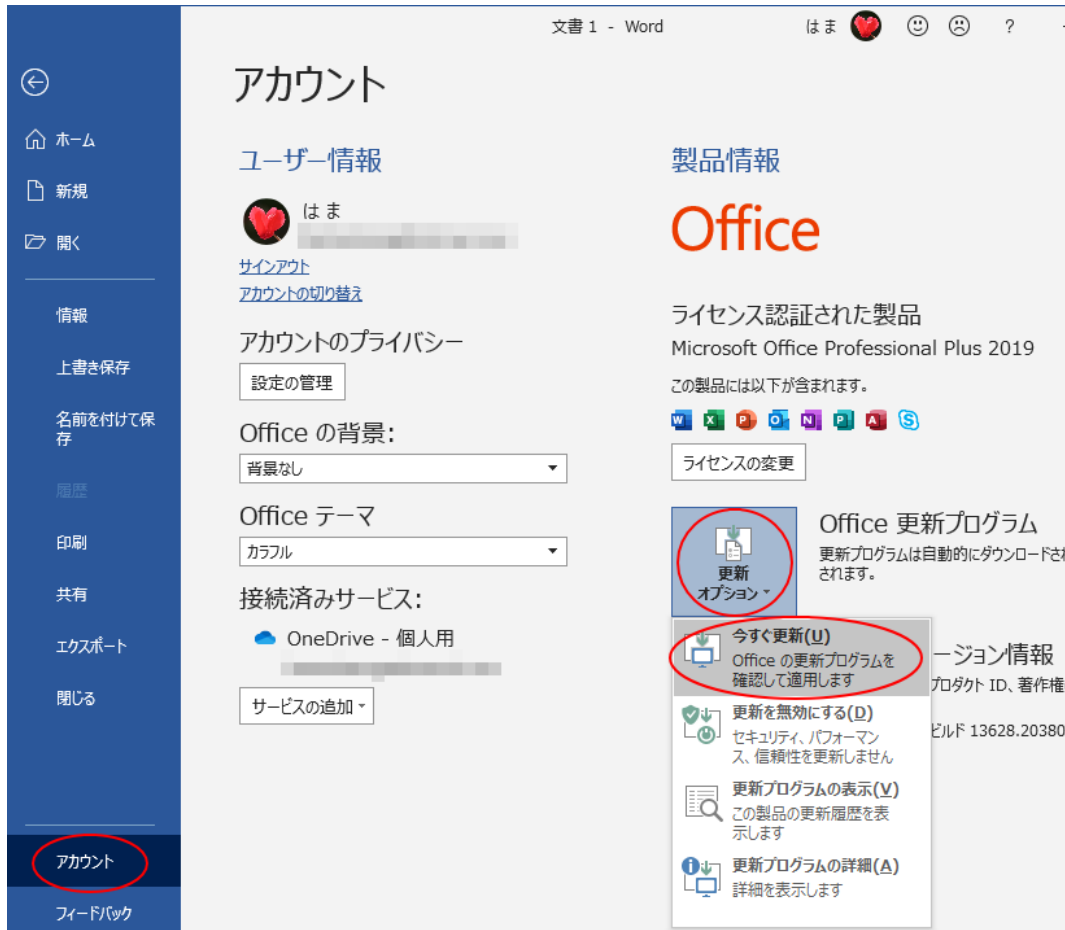
コマンドプロンプトは、[閉じる] ボタンをクリックして閉じます。



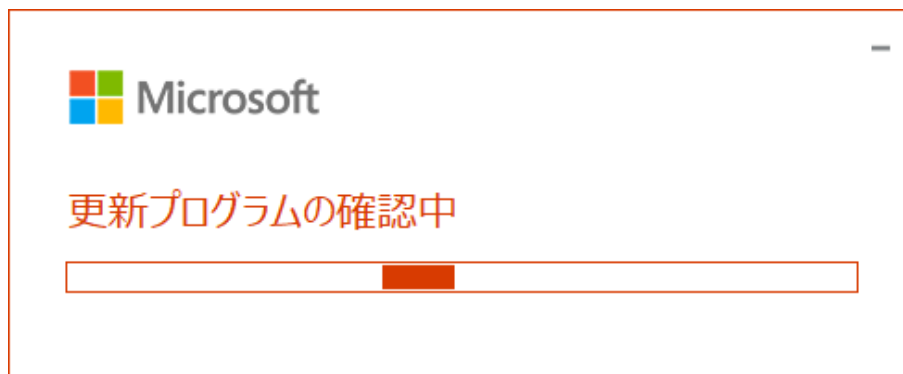
[setup.exe] と [Config.xml] を保存したフォルダーは、そのまま保存しておく、再度、バージョンを戻す必要な時がきたら、ビルド番号だけ書き換えて、同じように操作できます。

Office を起動して [更新オプション] の [今すぐ更新] をクリック

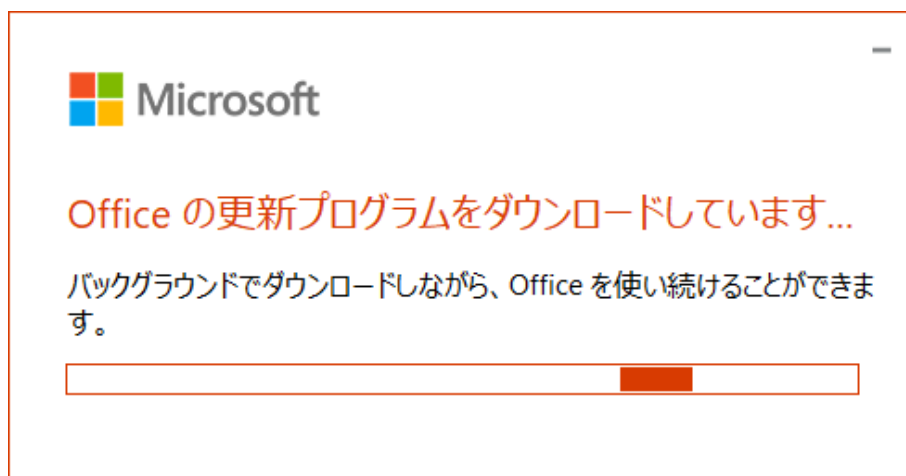
Microsoft Office のアプリケーションを起動して、メイン画面の [ファイル] タブをクリックして表示される画面左下の [アカウント] 項目をクリック、アカウント画面から [更新オプション] → [今すぐ更新] をクリックします。



すぐに以下の [更新プログラムの確認中] のウィンドウが現れます。



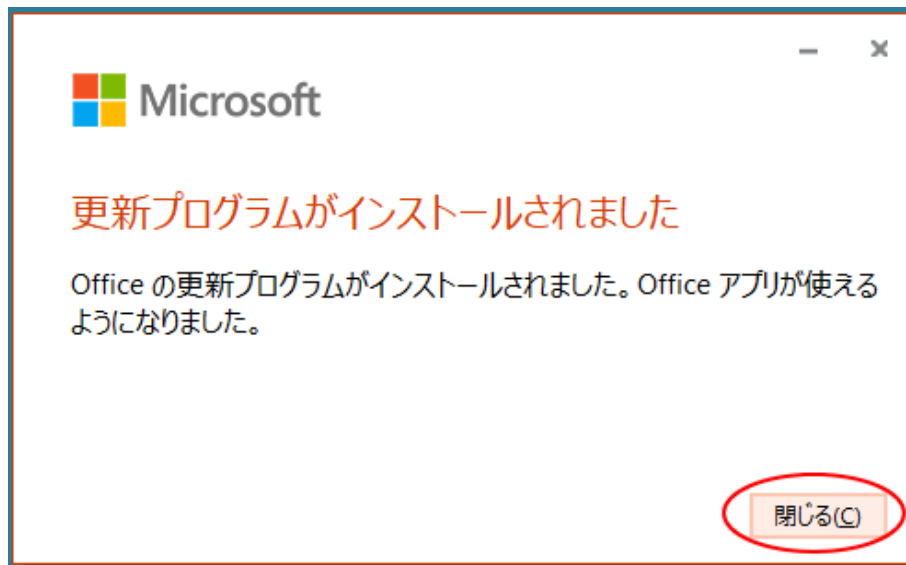
次に以下の [Office の更新プログラムをダウンロードしています] のウィンドウになります。



以下の [続行する前に作業内容を保存] のウィンドウが表示されたら、起動中の Microsoft Office を閉じます。ここでは、Word を閉じます。閉じたら、[続行] をクリックします。

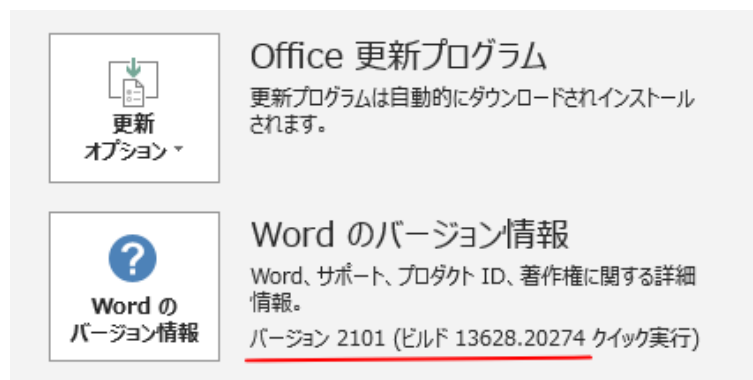


[更新プログラムがインストールされました] のメッセージが表示されたら完了です。[閉じる] ボタンをクリックします。ここまで 10 分ほどかかります。



バージョンとビルド番号を確認

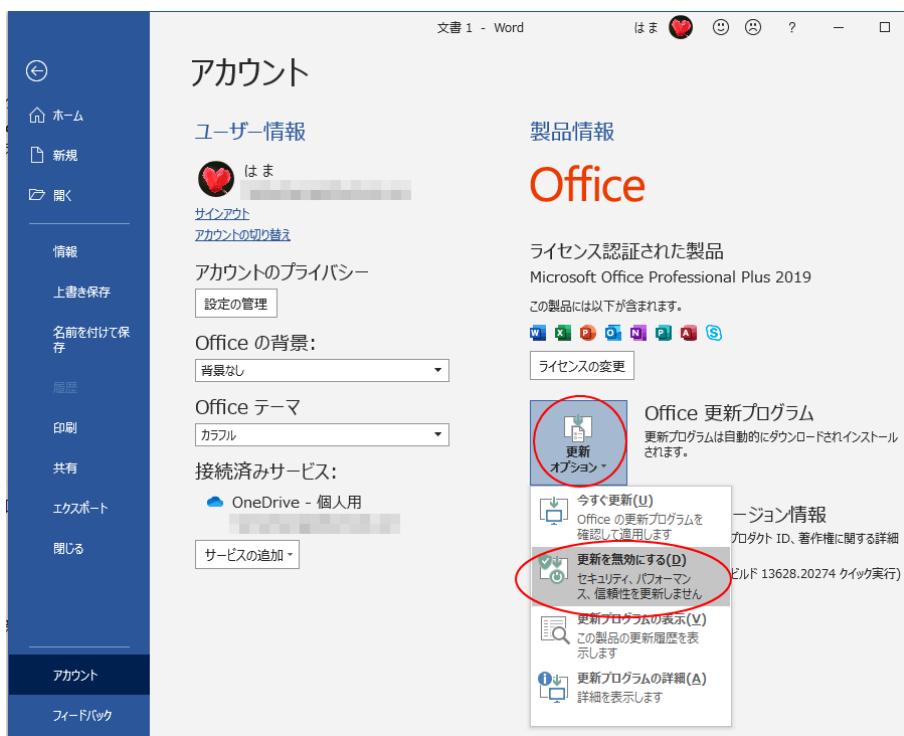
再度、Microsoft Office のアプリケーションを起動して、指定したバージョンになっているかを確認します。また、不具合があった動作が正常になっているかも確認してください。



自動更新を無効にする

新しい更新プログラムが自動的にインストールされないように設定します。

アカウント画面を開いて、[更新オプション] → [更新を無効にする] をクリックします。



設定後は、以下のように黄色になります。

